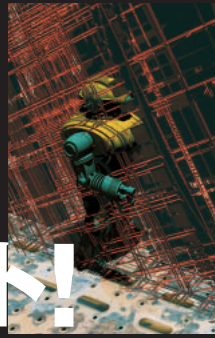


第13回 ADSLで選ぶプロバイダー

▶もう迷わない!

プロバイダー選び ここがチェックポイント!



いままでは、個人向けの常時接続といえば「フレッツ・ISDN」と「CATVインターネット」でした。フレッツ・ISDNは64kというスピードの割には月額4,500円もかかり、CATVインターネットは提供地域が限られているためサービスを受けることができないユーザーがたくさんいました。しかし、ここに来てやっとADSL接続が急速に提供地域の拡大を始めました。その中でも代表的なNTTが提供する「フレッツ・ADSL」と、イー・アクセスを使ったADSL接続を比較してみましょう。

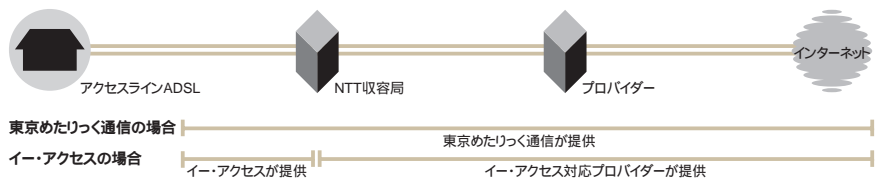
▶2種類あるADSL接続

いよいよ、ADSL接続サービスがNTTの正式サービスとなりました。まずは、ADSL接続サービスには、大きく分けて2種類あることを知っておきましょう。

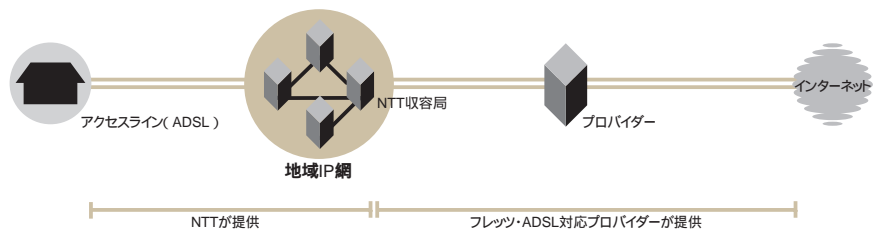
1つは、プロバイダーのバックボーンとADSL回線をNTTの収容局で接続する方法です(図1)。代表的な業者として東京メたりっく通信とイー・アクセスがあります。しかし、この2社にも大きな違いがあるのです。東京メたりっく通信は、プロバイダーとしての「インターネット接続サービス」とADSL接続による「アクセスラインの提供」の両方を行っています。しかし、イー・アクセスは「アクセスラインの提供」だけとなり、「インターネット接続サービス」はイー・アクセス対応のプロバイダーから選べるようになっていきます。ですので、イー・アクセスのメリットは、対応プロバイダーで今まで使っていたアカウントがそのまま利用できることにあります。そのため、メールやコンテンツなどのサービスが従来と変わらずに使えます。

もう1つは、プロバイダーとADSL回線をNTTの地域IP網を経由して接続する「フレッツ・ADSL」です(図2)。これは、フレッツ・ISDNのアクセスラインであるISDNを高速化のためにADSL回線にしたサービスです。フレッツ・ADSLはイー・アクセスの接続サービスに比べてサービスを提供しやすいので、多くのプロバイダーが対応しています(表2)。しかも、フレッツ・ADSLは複数のプロバイダーを切り替えて使うことが可能です。

【図1】イー・アクセスと東京メたりっく通信の接続の仕組み



【図2】フレッツ・ADSLの接続の仕組み



【表1】イー・アクセス接続とフレッツ・ADSL接続の比較(料金はBIGLOBE)

		フレッツ・ADSL接続	イー・アクセス接続
初期費用	プロバイダーへの支払い	なし	31,000円
	NTTへの支払い	17,300円	3,600円
	合計	17,300円	34,600円
月額利用料金	プロバイダーへの支払い	2,200円	6,500円
	NTTへの支払い	4,600円	なし
	合計	6,800円	6,500円
申込先	ADSLサービス	NTT	各プロバイダー
	プロバイダーサービス	各プロバイダー	各プロバイダー
通信速度	下り	1.5Mbps	1.5Mbps
	上り	512kbps	512kbps
接続可能台数		1台	複数も可
対応プロバイダー		30社	7社
提供地域	2001年1月現在	東京23区の一部 大阪市の一部	東京23区とその周辺 大阪市とその周辺
	3月予定	東京周辺と、大阪市周辺	東京周辺と、大阪市周辺
	7月予定	10万人規模の都市	未定

▶ イー・アクセスの接続とフレッツ・ADSL接続

さて、イー・アクセスなどのADSL接続とフレッツ・ADSLにはどのような違いがあるのでしょうか。

1つは料金と申し込み先です。ここでは、BIGLOBEを例にとり、フレッツ・ADSLとイー・アクセスを利用した場合で比べてみましょう(表1)。

フレッツ・ADSLでは、ADSL接続料金はNTTに、プロバイダー料金はBIGLOBEへそれぞれ支払います。一方、イー・アクセスを使った接続の場合、プロバイダーの利用料金にADSL接続料金が含まれています。フレッツ・ADSLの場合、申し込み先もNTTとプロバイダーの2か所に必要です。ですので、イー・アクセスによる接続のほうが手間が省けます。

2つ目は、利用するADSLモデムの違いです。ADSLとパソコンを接続するためには「ADSLモデム」を使います。ADSLモデムは接続業者からのレンタルがほとんどで、代金は接続利用料金に含まれています。イー・アクセスでの接続の場合、ADSLモデムは「ルータータイプ」と「USBタイプ」があります。ルータータイプは、複数のパソコンを接続することが可能です。パソコンとは10BASE-Tを使って接続しているので、無線LANが利用できるなど拡張性に富んでいます。一方のUSBタイプは、パソコンとADSLモデムをUSBで接続します。USBタイプは、接続できるパソコンのOSが少なかったり、1台しか接続できなかったりしますが、初期費用が安いというメリットがあります。

ただし、フレッツ・ADSLのモデムは1種類しかありません。接続には10BASE-Tを使いますが、このADSLモデムでは複数のパソコンをインターネットに接続することはできません。しかし今後、フレッツ・ADSL対応のルーター機能を持ったADSLモデムが販売されるかもしれません。

3つ目はサービスの提供地域です。イー・

アクセスは1月現在では東京23区とその周辺、また大阪市とその周辺に提供しています。しかし、フレッツ・ADSLは東京23区と大阪市の一部だけです。NTTによると、フレッツ・

ADSLは今年の7月までには10万人規模の都市でサービスを開始するとしています。フレッツ・ADSLは急速に提供地域を拡大していくようです。

【表2】フレッツ・ADSL対応プロバイダー料金表

プロバイダー	月額基本料金	大阪	東京	既存AP利用料金
@nifty	2,200円	×		追加料金なし
AIRnet	未定	×		未定
ASAHIネット	1,400円	×		5時間以降5円/分
AT&T WorldNet Service	未定	×		未定
BIGLOBE	2,200円	×		追加料金なし
COMS	年額37,800円	×		追加料金なし
DION	1,950円	×		オプション
Dreamnet	1,980円			追加料金なし
DS Networks	1,400円		×	追加料金なし
DTI	1,880円			8円/分(上限3,480円)
IJ4U	2,200円			8時間以降5円/分(上限6,300円)
interQ	未定			未定
KIWIインターネット	1,500円	×		追加料金なし
OCN	1,950円			追加料金なし
ODN	未定	×		未定
Panasonic Hi-HO	1,500円			オプション
SANNET	1,800円			追加料金なし
So-net	2,000円	×		追加料金なし
TOKAIネットワーククラブ	未定	×		未定
UIUI	1,000円	×		10~22時まで無制限
VC-net	年額12,000円			オプション
WAKWAK	未定			未定
アルファインターネット	980円			オプション
キャンパスネット	未定	×		未定
ケーブル・アンド・ワイヤレスインターネットアクセス	未定	×		未定
ザクソンインターネット	3,000円			追加料金なし
サン・インターネット	年額18,000円		×	追加料金なし
東京電話インターネット	未定	×		未定
ぶらら	1,000円			5円/分
リムネット	1,800円	×		10円/3分

【表3】イー・アクセス対応プロバイダー一覧

プロバイダー名	電話と共用			ADSL専用		
	初期費用	月額料金	初期費用	初期費用	月額料金	
	USBタイプ	ルータータイプ	月額料金	USBタイプ	ルータータイプ	月額料金
@nifty	23,900円	36,900円	6,500円	23,100円	36,100円	8,200円
BIGLOBE	21,600円	35,600円	6,500円	20,800円	34,800円	8,200円
DS Networks	15,800円	33,400円	5,800円	18,600円	27,600円	7,600円
GOL	20,600円	33,600円	6,300円	19,800円	32,800円	8,100円
Panasonic Hi-HO	21,600円	35,600円	5,800円	20,800円	34,800円	7,600円
リムネット	33,600円	38,600円	6,100円	32,800円	42,800円	7,900円
SANNET	21,600円	35,600円	6,300円	20,800円	34,800円	8,200円

ルータータイプは月額200円増



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp